



うちのイチ押し!

キッズプラザ 大阪

はじめよう! ミュージアムボランティア

キッズプラザ大阪では、展示物やプログラムを通して、子どもたちの遊び・発見・学びをサポートしながら、一緒にたのしくあそぶボランティア(インタープリター)を募集しています!!

活動期間は、4月から1年間です。館内で安心して活動していただけるよう研修等を行います。一緒に活動しませんか?

どんな人が求められているの?

- **子ども**が好きな方(18歳以上ならどなたでも)
- 体力に自信がある方
- 大勢の方と協力して活動できる方
- 年間を通して活動できる方

募集要項・締切など詳細は、P19もしくは
キッズプラザ大阪ホームページをご覧ください。



いっしょに楽しく
ボランティア
しましょう!



子どもたちと遊ぶ
中西さん

活動者の声



フロアインタープリター 1年目
藤井寺市在住 中西 明さん
今年82歳になる中西さん。これまでも様々なボランティア活動をされてきました。

Q ボランティアの活動はどうか?

A キッズプラザの活動はとても参加しやすいし、自主性を大切にもらえるのでやりがいを感じています。子どもたちと一緒に遊ぶことで元気になり若返ります!

Q 子どもたちとふれ合う中で大事にしていることは?

A 他の博物館とちがって、一緒に遊ぶことが大事なのであいさつや声掛け、雰囲気づくりを大切にしています。大きい子も小さい子もみんなアイデアがいっぱいでとっても刺激になり面白いです。

問合せ キッズプラザ大阪 インタープリター募集係 (6311-6603)



おおさか歴史探訪 97

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

加島屋本家跡

— 両替商から生命保険会社へ —

今回のNHK連続テレビ小説「あさが来た」の主人公「白岡あさ」は、大坂の両替商・加島屋に嫁いだ広岡浅子がモデルだということをご存じの方も多いでしょう。その加島屋本家の店舗・屋敷は、土佐堀川から旧・西横堀川が南に分岐するところの西岸にありました。現在、1993(平成5)年に竣工した地上19階建の大同生命大阪本社ビルが建っている場所です。ここには、かつて1925(大正14)年に完成した同社の旧ビルがありました。この建物の設計を行ったのが、大丸心齋橋店や国指定重要文化財となった神戸女学院大学の設計などで知られるW・M・ヴォーリズです。ヴォーリズは浅子の娘婿となった広岡恵三の妹・柳満喜子の夫でもあり、大同生命2代目社長となった恵三とともに、本社ビル建設のため4ヶ月にわたるアメリカ視察旅行にも出かけています。

現在この旧ビルの8階から屋上にかけて施されていた窓回りのレリーフや小尖塔が敷地内に移築されており、かつての壮麗なビルを偲ぶことができます(右写真)。ネオ・ゴシックスタイルにデザインされた繊細かつ華麗な装飾は、テラコッタと呼ばれる化粧陶板でできています。それまでのビル外壁といえば中央公会堂に見るようなレンガタイルを使ったものが主流でしたが、1923(大正12)年の関東大震災以降、テラコッタ装飾の華やかさから、震災復興への願いとともに東京・大阪を中心に流行します。そうした歴史の証人が街角に残ってしてくれるのは大変貴重なことです。

現在、大同生命大阪本社(大阪市西区江戸堀1-2-1)2階のメモリアルホールでは特別展示「大同生命の源流“加島屋と広岡浅子”」(入館無料、土・日・祝日も公開)が開催されています。開館時間や休館日等については大同生命WEBサイト(<http://www.daido-life.co.jp/>)をご確認ください。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



大同生命日本社ビルから移設された外壁装飾